

萬福寺だより

第24号

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2016年春号／no.24／平成28年2月25日発行



當山第二十六世 安本利正大和尚 ご遷化のお知らせ

萬福寺安本利正住職は本年1月8日、虚血性心不全のためご遷化されました（^{せんげ}世壽86歳）。ここに生前の遺徳を偲び、お悔やみ申し上げますとともに、謹んで皆様にご報告いたします。すでに1月13日、密葬の儀、相営みました。

なお、3月7日（月）^{たいや}逮夜（通夜）＝午後5時より、8日（火）本葬＝午前11時より執り行われます。



密葬（茶毘式）導師 元麻布賢崇寺東堂 藤田俊孝老師



副住職 安本由道師



右：通夜導師 秦野市白泉寺御住職 青木準龍老師



中央：寺族代表 安本米子氏

安本利正ご住職を偲んで

利正大和尚との思い出

萬福寺護持会元会長
波田野 鈴雄



利正大和尚、何故そんなに早く去ってしまったんだ。これが私の実感である。…利正大和尚との思い出で先ず一番に思い出されるのが、警察官の護衛の下、萬福寺の関係のお寺にお参りした時の事である。厚木の駅に降りると、10人ぐらいの警察官と、同じぐらいの暴力団と思われる人間が居たが、警察官の護衛の下でお参りしたことが、昨日のこのように鮮明に思い出される。

平成19年以来、いろいろの問題が一つ解決するとまた次が持ち上がって来る日々であった。今、思うとよくも次から次にいろいろの問題が起こったものだと思う。

当初、萬福寺を巡っての問題が起きた時に、5年で解決出来ると思っていたが、実際には6年かかってしまった。去年の5月、利正大和尚に、「すべて問題が解決したから、利正大和尚の思い通りにお寺を運営して下さい」とお願いをした。それを実行されぬまま、利正大和尚に先立たれてしまった。残念で痛恨の至りである。利正大和尚の冥福を祈る。



本堂を出る霊柩車（平成28年1月13日、密葬）



利正大和尚と並んで撮った1枚（平成24年10月21日、人形供養祭）

写真で綴る 在りし日のご住職



正月大般若会御祈祷諷經での転読（平成20年12月31日）



初の人形供養祭での法話（平成24年10月21日）



第1回写真会で古写経を手に説明（平成24年2月11日）



磨墨塚供養後の「するすみ祭」開会式で河原清彦護持会長と共に（平成27年11月8日）



大書院「大涅槃図」の前で（平成25年2月15日）



日帰りバス研修旅行の食事会で奥様と共に（平成24年10月1日）

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。



昨 年12月14日(月) 午前11時から本尊阿彌陀如来三尊仏の沐浴式(お身拭い供養)が、安本利正ご住職様を導師に執り行われました。多くの参詣者が出席するなか、ご法要に続いて、ご住職様が御開帳なつた三尊仏を木綿の浄巾でお清めし、1年間の塵を払い、新年を迎える準備を整えられました。

ご住職は法話で、「ご本尊様は、三国伝来(インドでつくられ中国を経て伝えられた)と縁起にあります。この話は江戸後期から始まったことで、私は梶原家三代景氏が『馬込村へ阿彌陀堂と暮を建立す』と寺誌にある1249年から56年(建長年間「鎌倉中期」)の阿彌陀堂建立時に、苦勞を重ねてこの地で铸造したものと考えます」と自説を30分にわたってご説明くださいました。最後に「ご

※ ほんぞんあみだによらいさんぞんぶつ
本尊阿彌陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳
もくよくしき かいちよう

平成27年12月14日(月)



本尊様は善光寺式阿彌陀三尊と呼ばれ、脇侍の観音菩薩、勢至菩薩様が胸の前で両手を重ねて宝珠を持っているのが特徴です。ぜひ覚えてお帰りください。本日はご参詣ありがとうございました」と、今となつては最後の法話を締めくくられました。



半 月が夜空に浮かぶ12月31日、午後11時から「歳末諷経」が、引き続き正月の法要「大般若会御祈禱」が安本利正ご住職様式師のもと執り行われました。ご本尊御開帳のなか、法要では『大般若波羅蜜多經』全600巻が3人のご僧侶により転読(経文を扇状にめぐりながら読誦)され、今年1年の無病息災、祈願成就が御祈禱されました。

その後、鐘樓門上で恒例の鐘つきが行われました。護持会はじめ近隣の400名を超える皆様が参詣され、用意された大型ストーブやお寺で前日から準備した豚汁、甘酒で暖をとりながら幾重にも並び、それぞれの思いを込めて合掌し鐘をつきました。12時前から始まった鐘つきも1時半過ぎには無事終了、馬込の新年も静かに明けていきました。

なお、正月大般若会御祈禱は、2日、3日にも行われました。

※ じやかな
除夜の鐘つき
だいはんにやえ ぎとつふぎん
正月大般若会御祈禱諷経

平成27年12月31日(木)
平成28年1月1日(金)



甘酒・豚汁のお振る舞いが好評でした



鐘樓門前を取り囲む参詣者の波

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索 <http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族皆様で参加しましょう

3.20(日)

春彼岸法要

午後1時から春風亭柳朝師匠による落語、
2時から法要

ご法要前の心の法話では、昨年ご好評をいただきました地元の春風亭柳朝師匠による落語会を開催します。本堂に設けられた高座での熱演をご堪能いただけます。ご家族・ご近所お誘い合わせのうえ、お出かけください。落語で笑いいただいた後は、ご先祖様からいただいた今ある幸せに感謝して、お墓参りをいたしましょう。

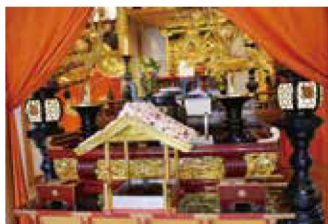


4.8(金)

花まつり

午前11時から法要

お釈迦様のお誕生をお祝いする「花まつり」では、屋根や四方を花で飾った花御堂をつくり、その中に釈尊の誕生仏を安置し、甘茶をかけて讃仏します。甘茶は釈尊誕生を喜んだ竜王が、甘露の法雨を釈尊の頭に降らせたという伝説によるものだそうです。境内の桜の花もほころぶ季節でもあります。お誘い合わせのうえ、ご参詣ください。



御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※ 梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

平 成27年度第3回写経会(第4回「年度納め写経会」)が2月11日(祝)、客殿で開催されました。今回は年度最後の写経会で、この1年間に皆様がお書きになった御写経を摩尼輪堂に奉納する法要が、写経会終了後に営まれました。法要に先だって波田野章研修委員長から「これまで大勢の方にご出席いただき、誠にありがとうございます。これから明るく開かれた写経会にしていきたいと思いますので、ご協力のほど、よろしく願います」と、お礼の言葉が述べられ、参加33名全員で「般若心経」を唱和し、社会の平穏を祈りました。

第4回
「年度納め写経会」を開催
平成28年2月11日(木祝)

涅槃会法要
の日前前11時から安本由道ご住職様を導師に、涅槃会法要が営まれました。この日はお釈迦様がお亡くなりになった日です。涅槃図(お釈迦様入滅の図)には、沙羅双樹の下で横たわる



お釈迦様を多くのお弟子様が取り囲んで嘆き悲しむ様子が描かれています。当山の安本利正前住職様も今年1月にお亡くなりになり、3月の本葬を控えた今、当時のお弟子様のお悲しみに思い致すとともに、前住職様のご遺徳を偲び、御冥福をお祈りし、併せて報恩の法要を行いました。合掌



編集後記

安本利正前住職の突然のご逝去、心よりお悔やみ申し上げます。大晦日の除夜の鐘の折には、お元気でいらしたと伺いました。門松のとれるや否やの訃報で本当に驚きました。今はただ衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

お知らせのように、ご本葬がまもなく行われます。護持会会員一同、ご住職遺弟の安本由道新住職を中心に務め上げて萬福寺を支えていきたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

早くも春のお彼岸の季節になりました。それぞれのご先祖様と共に偲ぶ方が今年からはお一人増えました。利正前住職の愛された境内の桜の開花もまもなくでしょう。本堂前の菩提樹の緑もあざやかになります。どうぞ皆様そってご参りにお越しください。